

マメコバチ入庫開始

12 2月12日
マメコバチ

4月3日、リンゴの結実確保に欠かせない授粉作業を助けるマメコバチの冷蔵保管が始まりました。自然条件下では、リンゴの開花前にマメコバチが巣箱から出てしまい授粉に活用できません。そこで農協では、5℃程度に保った冷蔵庫でマメコバチが脱出をする時期を調整して、薬剤散布の日程や開花日まで保管しています。

この日入庫に訪れた水木在家の三上誠さんも「昨年は、いつもよりマメコバチが飛んでいなかった。今年預かってみて飛ばないようならアシガヤを割って、様子を見てみようと思っている」と語っていました。



飛べ！飛べ！ マメコバチ～

農機センター売り出し

8 2月8日
農機センター

4月5日、湯口支所農機センター前で春の大展示即売会が開催されました。

当日は、青空が広がっているものの肌寒い一日でしたが、多くの生産者が訪れていました。

購買では、農作業シーズンに向けて雨合羽やはしごや長靴などが特別価格で販売されていました。

農機、自動車、スプレヤーのほかに豪雪だったこともあってタイヤシヨベルも展示されていました。中でも草刈機に乗りながら、手元レバー操作で肥料散布が出来る牽引式散布機に組合員の注目が集まっていました。



使いやすいのかな？

弘前市りんご園地視察

15 2月15日
弘前市りんご園地

4月9日、櫻田宏弘前市長は市議会議員と共に、雪害によるリンゴ園地の視察で当管内を訪れました。紙漉沢地区の成田貴仁氏園を訪れ雪の重さで幹折れした被害樹の前で、今回の状況について説明を聞きました。

折れた樹の補修はどのように行うのかと聞かれ、枝受支柱ややすがいなどの必要性を伝えました。頑張つて収量確保したいが、苗木の確保やこれからの霜被害も心配だと話す生産者に市長は励ましのエール送っていました。



視察に訪れた、櫻田弘前市長

第一回巡回講座

4 2月4日
巡回講座

4月11日、今年第一回目の巡回講座が相馬管内12箇所で開催されました。普段講座行っている園地の消雪が進まず、会場2ヶ所ほど変更しましたが、たくさんの生産者が足を運んでくれました。

振興課職員より今後の作業の進め方や防除ポイントの説明に真剣な眼差しで耳を傾けていました。続いて、中南農林水産事務所の担当より、マメコバチが減つて理由や農作業事故防止について呼びかけがありました。収穫まで行われる巡回講座ですが、次回の参加お待ちしております。



防除ポイント再確認しました（＾＾）



〇〇さん、10袋～ 威勢のある声が飛んでいた。

4月17日、18日2日間で、ライスロマンクラブの肥料配布が湯口支所グリーンプラザ前と相馬支所で行われました。

グリーンプラザ前では、訪れた会員のトラックの荷台へライスロマンの役員が、手際良く肥料を積んでいました。

花田勇人ライスロマンクラブ組合長は、「特A米を目指して、災害の少ない実り多い年になるように願っています」と意気込みを話してくれました。

ライスロマンクラブ 肥料配布



快適なスペースが出来て、迎える準備OKです。

4月21日、5月から来るネパール技能実習生宿舎を組合長含め農協理事11名で見学しました。

この宿舎は、旧相馬商工会をリフォームしたもので、昔の建物を活用しつつ建てられました。

「シャワーだけで寒くないのか」「セキュリティ面が少し心配では」「自転車置き場は？」など色々な意見が出ていました。5月中旬から3班に分かれて20名来日予定となっています。

ネパール技能実習生 宿舎完成



1日の生活にリンゴをプラスしてみませんか？

4月22日、弘前市役所特設会場において即売会が行われました。

「ひろまる」は、弘前産のリンゴを健康への効能を表示した「機能性表示食品」として売り出す地域ブランドであり、消費拡大も目指している商品である。

今回は、弘前公園で開催しているさくらまつりで訪れた人に試食をしてもらいながらPR販売を行った。「荷物になる」と一度は諦めたけど、試食が美味かったからとわざわざ戻って来てくれた埼玉から訪れたお客様もいました。

「ひろまる」即売会



無事に作業が進むようにお願いします。

4月24日、ライスロマンクラブトラクターの安全祈願祭にライスロマンクラブ役員、大場組合長含め15名が参列しました。

「高齢化に伴い、トラクターのオペレーター不足で大変だ」と語り新しい機械の力を借りて作業効率を上げていきたいと花田勇人ライスロマンクラブ組合長は話してくれました。

いよいよ4月29日から東部班で耕起作業が始まり、例年通り5月半ば過ぎには田植えが始まります。

トラクター安全祈願



プラス

育苗センター見学

4月24日

4月24日、相馬小学校の5年生16名がJA育苗センターを訪れました。児童たちは、社会科授業でお米が出来るまでについて勉強しています。今回は種から苗を育てる過程（播種作業）を学ぶために訪問しました。田中課長補佐が皆さん、朝ごはんは食べてきましたか？と尋ねると、児童たちは元気に「はい」と答えていました。米の品種に関するクイズや『水稻苗が出来るまで』という紙芝居に興味津々で見入っていました。



こうやって芽出すんだね



はい！質問ある人(^_^)/



楽しかったね！！

見学を終えて児童たちは、「とても楽しかった」、「様々なことを学べて良かった」と話してくれました。次回は、田植え作業の見学も予定されています。

プラス

いよいよ花と緑の市

4月26日

4月26日から5月6日までの期間、湯口支所前特設会場にて毎年恒例の「花と緑の市」が開催されました。今年はお雪の遅れ、寒い日が続いたため、初日は客足があまり伸びませんでした。売れ筋は、ナスやキュウリ、トマトなどの野菜が特に人気でした。毎年訪れるお客様からは、「この苗は、根の張りが良く、他と比べて価格も手頃」との声が寄せられました。4月末からは少し天候に恵まれ、多くのお客様で賑わい、大盛況のうちに終了しました。



どれがいいかな？

